

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子健康相談事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	妊娠期～出産～乳幼児期を通し、適切な時期に、保健指導、健康相談、各種健康教室を実施することで、母子の健全な育成と安心・安全に育児できる環境を整える。				
	5年度概要	妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室(マタニティ編) 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、ことば相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室(子育て編)等			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	妊産婦及び乳幼児
意図(どのような状態にしたいか)	妊産婦の育児不安感や負担等を軽減し、母子の健全育成を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
各事業開催回数	回	3,332	3,250	3,357	1,727	1,727

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	各事業参加者数	人	目標値	32,680	13,200	13,200	13,200	13,200
			実績値	9,583	9,791	9,523		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成 28 年度で各地区で実施していた母子健康教育・母子保健セミナーの事業が終了したことや乳児相談が予約制になったことで開催回数、参加者数は共に減少傾向であるが、新型コロナウイルス感染症による影響が落ち着きつつあるため、事業開催回数は増加した。	(目標達成度)						(達成度) 72.1%
								25点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	53,525	53,778	53,762	54,663
(事業費)	[円]	9,381	9,233	9,606	10,507
(職員人件費)	[円]	44,144	44,545	44,156	44,156

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
参加者数は減少しているが、事業内容や方法について、今後も、対象者のニーズを取り入れながら継続支援していく必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
事業内容や方法について、今後とも、対象者のニーズを取り入れながら継続支援していく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指導）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後間もない乳児（生後4か月未満）がいる家庭を助産師や保健師などが家庭訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供につなげる。				
5年度概要	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約3,000件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等により育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

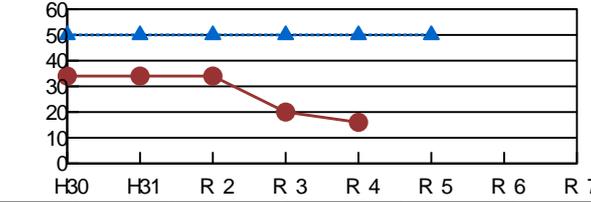
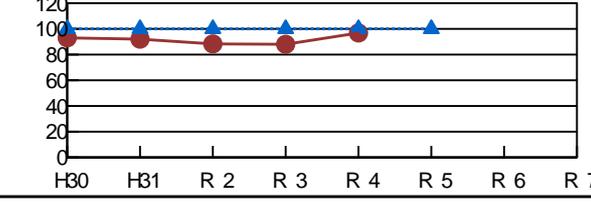
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の新生児と産婦
意図（どのような状態にしたいか）	産婦の悩みを聞いたり、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、支援を行うとともに適切なサービスの提供につなげ、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
産婦訪問数	人	3,061	2,917	2,995	4,000	4,000
新生児訪問数	人	2,704	2,745	2,762	4,000	4,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	新生児訪問指導の未把握数	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	34	20	16		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標を達成できた。  (目標達成度)							(達成度) 168.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか） 訪問実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	88.3	88	96.8		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたことにより、目標値に近い形で支援できた。  (目標達成度)							(達成度) 96.8% 33点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	36,630	37,103	37,088	39,594
（事業費）	[円]	23,911	24,268	24,365	26,871
（職員人件費）	[円]	12,719	12,835	12,723	12,723

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 費用対効果、貢献度共に変わらないが、訪問実施率が新型コロナウイルス感染症の影響により低下した。引き続き、訪問実施率100%を目指す。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに有効な事業であるため、継続実施する。			

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	不妊治療支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	令和4年4月からの不妊治療への保険適用開始に伴い、保険適用外の治療費に対して助成していた従来の特定不妊治療・一般不妊治療費助成事業は令和3年度末で終了し、4年度に限り経過措置として、制度移行期の治療計画に支障が生じないように、移行期に特定不妊治療を受けた夫婦に対し従来の助成金を1回のみ支給する。また、移行期に特定不妊治療を受けた夫婦は、治療内容によっては従来より自己負担が増える場合がある等の課題を受け、令和4年8月から、保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療に対し、本市独自の新たな助成事業「高松市ここのとり応援事業」を実施する。また、引き続き、不育症検査費用に対する助成を実施する。				
5年度概要	妻の年齢が42歳以下である夫婦が、保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療について、治療費の一部を助成する。また、不育症検査を受けた人に対し、検査費の一部を助成する。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

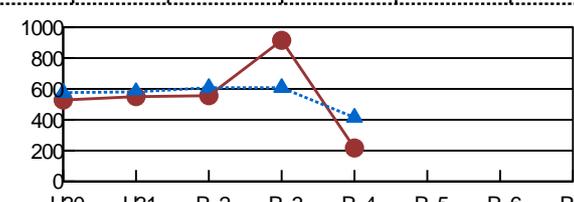
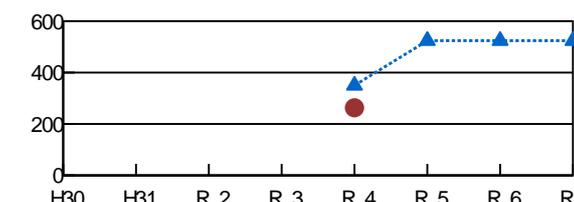
【事業の目的】

対象（何を）	令和4年度からの不妊治療への保険適用開始に伴い、保険適用開始後に体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療を受けた、妻の年齢が42歳以下の夫婦、また、不育症の検査を受けた人。
意図（どのような状態にしたいか）	子どもを望む夫婦が、保険適用開始後に体外受精・顕微授精（生殖補助医療）等の治療を受けた場合、治療費の一部を助成することにより、また、不育症検査を受けた人に対し検査費の一部を助成することにより、その経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
特定不妊治療助成事業助成件数	件	556	915	217		415
ここのとり応援事業（生殖補助医療費助成事業）助成件数	件			263	524	524

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
特定不妊治療助成件数	件	目標値	608	608	415		415
		実績値	556	915	217		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度から不妊治療が保険適用になったことに伴い、令和3年度から4年度にかけて年度をまたいでの治療のみが対象であったため、当初見込んだほどの申請がなかった。 							(達成度) 52.3% 18点
ここのとり応援事業（生殖補助医療費助成）件数	件	目標値			350	524	524
		実績値			263		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年8月から新たに事業を開始した。開始当初は制度の周知が十分でなかったため助成件数が伸びなかったが、年度末にかけて件数が増加した。 							(達成度) 75.1% 26点

【コストの推移】

指標名	単位	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	122,587	239,738	83,198	42,677
（事業費）	[千円]	114,357	231,433	74,966	34,445
（職員人件費）	[千円]	8,230	8,305	8,232	8,232

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

不妊治療への保険適用に伴い、かえってこれまでより医療費の自己負担額が増えてしまうケース等への支援のため、本市独自の新たな助成制度を開始した。今後も申請者からのアンケート等によりニーズの把握に努め、施策の充実を図っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

不妊や不育症で悩む方のニーズ等を捉えて市の施策に反映するよう努める。今後とも、国における制度改正等に適切に対応しつつ、引き続き、子どもを望む夫婦への支援の充実を図っていく。

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	各種医療給付事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減するため、その治療に係る費用の一部を助成する。
-------	--

5年度概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務有)
--------	----------	---------	----------------------

【事業の目的】

対象 (何を)	各医療給付事業の条件を満たす者。
意図 (どのような状態にしたいか)	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等による療養に必要な費用の一部を助成し、経済的負担を軽減する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
各事業の申請件数	件	1,291	1,126	1,030	1,250	1,250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	各事業の給付件数	件	目標値	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
			実績値	1,291	1,126	1,030		
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	市ホームページ等により制度の周知を行っているが、目標の達成には至らなかった。	(目標達成度)						
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (決算)	令和 4年度 (決算)	令和 5年度 (予算)
トータルコスト	[円]	139,858	143,055	126,937	133,389
(事業費)	[円]	133,124	136,260	112,717	119,169
(職員人件費)	[円]	6,734	6,795	14,220	14,220

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-----------------	---	-----------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

国等の制度内容を踏まえ、支給要件等の再確認を行うなど、適正な支給に努める。

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2363
	基本事業	子どもの心身の健やかな育ちへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	妊娠期からの子育て世代包括支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子育て期にある若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境の実現を目指し、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズの支援のために、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を整備し、母子保健コーディネーターによる切れ目ない支援を実施する。 また、産後ケア事業、産婦健康診査、多胎妊産婦支援事業の実施及び電子母子健康手帳の運用を行う。				
5年度概要	子育て世代包括支援センターの運営 ・総合的相談支援の実施 ・関係機関との連絡、調整 ・要支援妊婦における支援プランの作成及び実施 ・子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	妊娠期から子育て期にある子育て世代
意図（どのような状態にしたいか）	妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
母子保健相談件数	件	21,874	22,830	22,065	15,600	15,600
母子保健コーディネート件数	件	9,079	8,127	8,707	8,027	8,027

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	把握しているハイリスク妊婦のうち支援につながった割合	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	77.5	82.5	78.2		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 支援が必要な妊婦の増加に伴い、連絡がつきにくい対象者や転出ケースが増え、目標値に届かなかった。 (目標達成度)							(達成度) 86.9%
								30点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	85,650	93,991	394,106	455,437
（事業費）	[円]	33,276	33,591	326,750	388,081
（職員人件費）	[円]	52,374	60,400	67,356	67,356

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 今後の課題：関係機関との更なる連携強化、産後ケア事業、多胎妊産婦支援事業等の円滑な実施 事業方針：ニーズの把握に努め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目指す			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 母子保健コーディネーターと関係機関とが顔の見える関係を築き、お互いに情報共有しながら連携強化に努め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目指す。 また、出産・子育て応援給付金事業を通し、伴走型相談支援の充実を図る。			